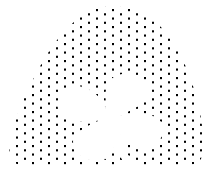


Assault
Prevention
Information
Space

～暴力防止に役立つ情
報の収集や発信の拠点
として様々な活動を行
っています～

APIS

NPO法人暴力防止情報スペース・APIS (アピス)



2020.1.16

No.78



(写真撮影・刺繍 野中ひとみ)

- ◆巻頭言 2019年度「大阪“クリーンUP”作戦」に参加して
- ◆CAP（子どもへの暴力防止）研修
- ◆10年後の生きている図書館
- ◆大阪府人権擁護士連絡会に参加して
- ◆本の紹介 『『空気』を読んでも従わない 生き苦しさからラクになる』
- ◆映画の紹介「ジョーカー」
- ◆APISの活動記録 2019年10月～12月

2019年度「大阪“クリーンUP”作戦」に参加して

第9回大阪マラソン（12月1日）が開催される2週間前の日曜日、（株）光洋が主催するマラソンコース（西区のコーヨー堀江店から浪速区のコーヨーなんば店まで）の清掃・ゴミ拾いのボランティア活動に、APISからYさんと私の2人で参加しました。

なにわ筋の堀江から千日前通りの難波まで、約1時間半の道のりです。

参加者は50～60人くらいで5班に分かれて火ばさみとナイロン袋を持って出発です。

お天気に恵まれ、参加者も老若男女、小学生、中学生、車椅子の方も一緒に、タバコの吸い殻、空き缶、ペットボトル、骨が折れたビニール傘、マスク、手袋片方、探せば一杯出てきます。

皆で「こんなんも落ちてる」とワイワイ言っているうちに、終点のなんば店に着きました。

ボランティアの参加者の方々と「お疲れ様！」

お互いのねぎらいの言葉をかわしながら「またね」と解散。

初冬を忘れさせる程のやさしい太陽のぬくもりを背に岐路につきました。

(T S)



CAP(子どもへの暴力防止)研修

2019年10月26日(土)

場所: 住之江区子ども・子育てプラザ

「CAP やりたいんです!!」

以前から熱い思いで相談を受けていた住之江区に行ってきました。

土曜日の午前中にもかかわらず、現役ママさん、地域の子どもに関わる方にお集まりいただきました。

初めてCAPの話を書く参加者ばかりだったので、CAPの説明・子どもプログラムの体験・しつけと暴力・虐待の世代間連鎖の正確な情報・私たち大人にできることをお話しました。「子どもの話の聴き方」についても詳しくお話しました。普段聞いているようで、何となく流れている子どもの話。ちょっとしたコツを使うことで、子どもが「話が聞いてもらえた」と実感し、また話してくれるようになります。普段の何気ない会話の中で、この積み重ねをしていると、何かあった時に大人に相談しやすくなります。この「聴き方のコツ」は大人同士の関係にも使えます。「職場でも使えそうです」との感想もいただきました。

共働き家族が増え、忙しい大人が増えました。大人にも気持ちに余裕のある時とない時があります。たくさんの大人が自分の事を大切にしながら、子どもに少し寄り添えたらなあと思います。

親だけでなく地域で子どもに関わろうとされていることに、温かい気持ちになりました。

(E. Y)



CAPってなに?

CAPは人権教育プログラムです。

寸劇や人形劇、対話をしながら子どもたちがいじめや暴力にどう対処していけるかを一緒に考えます。自分たちに何が出来るかを考え、自分たちが内に持っている力を発揮すること(エンパワメント)によって、理不尽な暴力を跳ね返す権利意識を育てていきます。



10年後の生きている図書館

2009年8月に大阪で初めての生きている図書館「多様性に出会う in 大阪」を開催してから10年経ちました。

この間、様々な規模の生きている図書館を運営したり、スタッフとして協力するなどして関わってきました。

その他にも開催したいと考えている方に経験をお話する機会もありました。

今また学生を対象に開催したいと準備中の方とのミーティングを重ねています。

10年前には大阪市の助成金得て、手引きの日本語訳と実際の開催を手探りでやっていました。その時発行した手引書「生きている図書館実施ガイド～暴力・対立防止、多様性の理解を深めるために～」が、今回開催を考えている方から、「実践的で役に立つ、やれる気になる」と評価をしてもらい、苦勞が報われる思いがしました。

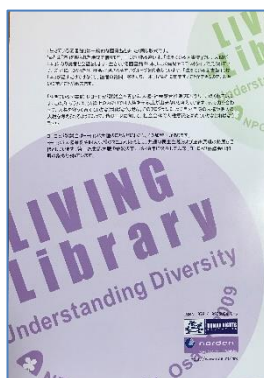
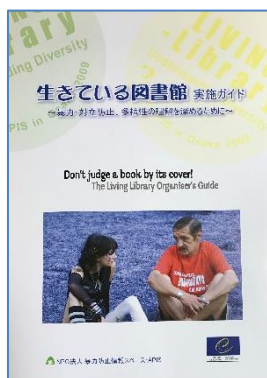
開催前には様々な不安があったのが、開催後にはまたやりたい気持ちになるのがこの企画の素晴らしさです。

その場にいる誰もが互いに肯定され、つながりを感じ、楽しくなる企画です。

ところで、NHKの番組「ねほりんぱほりん」は生きている図書館みたいだなあとと思いますし、他にも本を読むようにその人を知ろうとして話を聞く番組はあり、スタイルは違っても「他者との対話」は面白いです。そして、その面白さは質問によって引き出されていると思います。本を読む側の有り様によって本の姿も違ってくるように、「読者」も生きている図書館を作る重要な部分だと思います。

今回は委託を受けて自分たちが運営するのではないので、企画や準備にどのような形で協力ができるのか探りながらミーティングをしています。この経験をとりあえずマニュアル化できれば立派な事業になるはずです。一方で、ミーティングの場そのものが生きている図書館っぽいのかなと思います。参加者の経験やアイデアを出し合う中で、その人のことをよりよく知っていく場になっていると思うのです。

(のぶどう)



手引書「生きている図書館実施ガイド～暴力・対立防止、多様性の理解を深めるために～」

関連活動年表

- 2009年8月1日 生きている図書館「多様性に出会う in 大阪」開催
- 2010年3月31日 実施ガイド発行
- 2010年11月30日 川西市「本に出会う！多様な生き方を知る！」講師派遣
- 2011年8月20日 生きている図書館「REAL Voice 「子どもへの暴力」生の声を聞く」開催
- 2012年1月28日 クレオ大阪東との協働プログラム「REAL Voice 男女や個人の多様性理解を深めるためのワークショップ～男はこうあるべき？女はこうあるべき？自分らしく生きるって・・・？～」開催
- 2012年2月18日 子どもを学ぶ連続セミナー「子どものとき言えなかったこと～REAL Voiceからの報告」開催
- 2012年12月9日 Living Museum!～「証言の部屋」から飛び出た、出会いと対話の空間～企画・運営スタッフ協力
- 2013年2月19日 京都市委託事業「生きている図書館 in 京都」運営
- 2014年2月1日 京都司法書士会委託事業「生きている図書館 Don't judge a book by its cover!」運営
- 2016年9月3・4日 アディクション看護学会学術集会特別企画
アディクション・ライブラリー企画・運営についての事前相談対応
- 2018年3月11日 大阪ダルク主催 アディクション・ライブラリー スタッフ協力



大阪府人権擁護士連絡会に参加して

2019年12月5日 大阪府人権擁護士連絡会に出席し、スキルアップ講座を受けてきました。今回は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」についてです。

この法律は平成28年の施行されたものですが、巷では“合理的配慮”の規定が分かりにくいと言われている法律です。また法律の中の用語である“社会的障壁”や“障がい者”の定義についても理解が浸透していないと感じています。

例えば、障がい者＝障害者手帳を持っている人とは定義されていません。平成29年の国会答弁で、化学物質過敏症の方も対象になるかの質問に『「(略) 障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会的生活に相当な制限を受ける状態にあるものをいう」と定義してございます。化学物質過敏症の方につきましても(略) 障害者差別解消法で定める障害者の対象になり得ると解してございます。』と回答しています。

そして、不当な差別的取扱いに当たり得る具体例についても学び、“正当な理由”との違いや何故不当な差別は起こるのか?についても学習してきました。

合理的配慮については、ロールプレイ形式で物理的環境への配慮例や意思疎通の配慮例など多様な想定事例の中で学びを深めることが出来ました。

私自身は障害者差別については、見識がまだまだ未熟なところがあります。更にスキルを高め人権擁護に努めたいと思っています。

(S. K)

年末年始は、ローマに行ってきました！



教会と美術館を巡ってきました。現地の修道院におられる日本人のシスターも合流して、キリスト教と美術・音楽などの関係のお話をたくさん聴かせてもらい、とても充実した旅になりました。元旦はヴァチカン市でのローマ法王のミサに行ったりと感動が多々あったわけなのですが、衝撃だったのは松の木の剪定の仕方です。街のあちこちに見られる巨大な松の木の枝は全てカットされ、まるで巨大キノコのような感じ、UFOの止まり木のようにも想像できました。国が変われば木の剪定も違うんだなあと、松の木で国の文化や風土の違いを大きく感じたのでした。

(H. N)

本の紹介

『空気』を読んでも従わない 生き苦しさからラクになる

(岩波ジュニア新書) 鴻上尚史著 岩波書店



「KY」という言い方が広がった時、それは私のイニシャルなんだけど・・・と戸惑った。
「K (空気が) Y (読めない)」「K (空気を) Y (読め)」っていうことなんだと知って、やっぱり私だと思った。
もうこの話は何度も繰り返しているのだけど、出雲地域の兼業農家に生まれ育った私は、地域が一体に暮らす”暖かく””互いを思いやる”風土に浸っているのが苦しくて町を離れることを決めた。
身に染みている風土 (文化・価値観・人間関係の作り方) は煩わしくもあり、懐かしくもある。
そこで培った「空気を読む」能力は役にも立つけど、自分を縛ることも多かった。
また、読み間違えることもあって、異なる風土では役に立たないと知った。

そして、その場の空気を読むか、無視するか、変えるか、その場その場で使い分けようになった。

この本は、人生の出発点に立つ若い世代向けのシリーズの1冊で、私が40年くらいかかっていたどり着いた考えが優しく、親しみやすい語り口で書かれている。著者の作品には以前から時折触れていて、今はネットで読める「ほがらか人生相談」の回答を自分の考えと答え合わせをするように読むのを楽しみにしている。

この本で、外国でのエピソードとして描かれているロンドン演劇学校のクラスメイトのリチャードの言葉、「僕達は、体験したり、勉強したら、何かを言わなければならない『強迫観念』があるんだ」が興味深かった。リチャードにも身に染みている風土があるのだな (私のそれとは全く違うものだけど) と分かった。

年齢にこだわらず、人間関係に悩みを抱えている方にオススメ。 (のぶどう)

映画紹介

「ジョーカー」 2019年製作 アメリカ 監督 トッド・フィリップス



この秋、映画「ジョーカー」を夫婦で観てきました。アメコミ映画としては初となる第76回ベネチア国際映画祭の金獅子賞に輝き、すでに「アカデミー賞は確実」との呼び声高い作品。

アメコミ映画に興味なく、バットマンシリーズのストーリーの流れは全く分かっていない私とバットマンやダークナイトを観ている私のパートナー。

さてお互いの感想は?…二人共感想大絶賛の映画でした! 映画を見終わって2週間以上経っても感想話は尽きません。主演のホアキン・フェニックスの演技が凄く良かったです。彼なしではこの映画はなかったかもしれないと思わせるような怪演!!!

BGMも良かったあ～ 人を殺め、職を失い、苦しい状況で生活する主人公アーサーに「それでも笑え」と歌いかける残酷ですらあるシーンには、チャップリンの『モダン・タイムス』の「スマイル」が流れ、「人生にはまだ価値があると思えるだろう。もし君が笑っていればね」という歌詞が繰り返し使われています。

私が思う『ジョーカー』屈指の名シーンは、“階段を下りながら踊るジョーカー”です。暗闇の中、階段を孤独に上がっていくシーンとの対比が心に刺さります。

今年の映画の中で私にとって最高の一本でした!

もう上映はされていないと思いますが、来年1月末頃にはレンタルできると思います。

是非、ごらんになって下さい。お勧めの映画です。

(たくわん)



APIS の活動記録

2019年10月~12月

10月

- 1日(火) ゆるゆるトーク「おすすめの一冊」
- 2日(水) 都島区社会福祉協議会 ボランティア・アドバイザー連絡会
- 4日(金) 生きている図書館運営相談
- 7日(月) 都島区社協インタビュー
- 17日(木) 定例ミーティング ニュースレターNo.77発行
- 19日(土) タッピングタッチ基礎講座 A
- 21日(月) 電話相談ミーティング
- 26日(土) CAP研修 住之江区子ども・子育てプラザ
- 30日(水) 大阪市地域福祉推進功労者表彰式



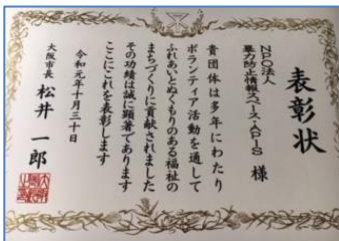
生きている図書館運営相談

11月

- 1日(火) 講師派遣：大阪法務局管区内人権擁護委員男女共同参画問題研修
- 6日(水) 都島区社会福祉協議会 ボランティア・アドバイザー連絡会
- 8日(金) HPミーティング
- 13日(水) わいわいトーク「美顔マッサージ」
- 14日(木) 生きている図書館運営相談
- 17日(日) (株)光洋 大阪”クリーンUP”作戦
- 16日(土) タッピングタッチ基礎講座 A
- 21日(木) 定例ミーティング 電話相談スーパーバイズ
- 28日(木) CAP打ち合わせ 住之江区子ども・子育てプラザ

12月

- 3日(火) ゆるゆるトーク「女性の役割・私の役割」
- 4日(水) 都島区社会福祉協議会 ボランティア・アドバイザー連絡会
- 5日(木) 人権擁護士連絡会
- 7日(土) タッピングタッチ基礎講座 B
- 19日(木) 定例ミーティング
- 24日(火) 理事会



大阪市社会福祉大会で、地域福祉推進功労者として表彰されました！



わいわいトーク「美顔マッサージ」



都島区社会福祉協議会発行通信「みやこじま」から取材を受け掲載されました！

編集・発行

編集後記 前号のNLに掲載した写真刺繍個展へ沢山の方にご来場いただきました。ありがとうございました！！(H N)

NPO法人暴力防止情報スペース・APIS
〒534-0023大阪市都島区都島南通 2-4-21
TEL:06-6924-5551
FAX:06-6924-5556